



2015年10月21日

各位

株式会社 I H I
 東京都江東区豊洲三丁目1番1号
 代表取締役社長 齋藤 保
 (コード番号 7013)
 問合せ先 常務執行役員 望月 幹夫
 財務部長
 T E L 03-6204-7065

2016年3月期第2四半期連結累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2015年8月4日に公表しました2016年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2016年3月期 第2四半期連結累計期間 業績予想数値の修正(2015年4月1日~2015年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2015年8月4日発表)	700,000	20,000	14,000	6,000	3.89円
今回修正予想 (B)	680,000	0	△4,000	△4,000	△2.59円
増減額 (B-A)	△20,000	△20,000	△18,000	△10,000	—
増減率 (%)	△2.9	△100.0	△128.6	△166.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2015年3月期第2四半期)	616,144	28,934	32,337	20,946	13.57円

2. 2016年3月期 通期業績予想数値の修正(2015年4月1日~2016年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2015年8月4日発表)	1,580,000	75,000	63,000	39,000	25.27円
今回修正予想 (B)	1,580,000	50,000	38,000	18,000	11.66円
増減額 (B-A)	0	△25,000	△25,000	△21,000	—
増減率 (%)	0	△33.3	△39.7	△53.8	—
(ご参考) 前期実績 (2015年3月期)	1,455,844	63,253	56,529	9,082	5.88円

3. 業績予想修正の理由

2015年8月4日の業績予想の修正において、F-LNG・海洋構造物事業における採算悪化や、前年度に足場（キャットウォーク）の落下事故が発生したトルコ イズミット湾横断橋建設工事における工期短縮のためのコスト増加についてお知らせしました。

このうち、F-LNG・海洋構造物事業については、前回発表以降、プロジェクト管理体制の強化や、コーポレート主導の施策（IHIグループの部門を超えた技術者・専門家の配置や、モニタリング強化のための人材補強など）を実施してきましたが、当社愛知工場の生産混乱は未だ完全に収束していません。シンガポール向けドリルシップ船体建造工事では、前回発表時に比べて減少しつつあるものの、依然として図面改正や工程混乱が続いていることから、この対応のため愛知工場のリソースを追加投入するなどの対策を講じており、今回その設計費や加工費を計上しました。また、ノルウェー向け洋上浮体式石油生産貯蔵積出設備（FPSO）船体建造工事では、詳細設計が本格化し、外注先の海外メーカーと詳細な作業内容を確認する中で、物量増加に伴う調達コストの大幅な増加が発生するとともに、これに伴う建造工程遅延に関わる費用を工事原価総額に反映させました。これらの大型海洋構造物工事の工程遅延・生産混乱の影響を受けて、LNG船用SPBタンク建造工事でリソース不足が発生しないよう、これに対応するための費用を工事原価総額に反映させました。これにより、F-LNG・海洋構造物事業でさらに大幅な採算悪化が発生する見込みとなりました。

また、F-LNG・海洋構造物事業以外でも、原油安や、中国経済の低迷などの外部環境の悪化を受けて、資源・エネルギー・環境および産業システム・汎用機械事業領域の売上高が当初想定より減少する影響や、資源・エネルギー・環境事業領域の一部受注工事で追加費用の計上が見込まれることから、第2四半期連結累計期間及び通期における各利益段階の予想を下方修正しました。

【F-LNG・海洋構造物事業の手持工事】

案件名称	概要
シンガポール向けドリルシップ船体建造工事	受注年月：2013年12月 工事進捗率（※1）：68%
ノルウェー向け洋上浮体式石油生産貯蔵積出設備（FPSO）船体建造工事	受注年月：2014年5月 工事進捗率（※1）：12%
中国向けLNG船用SPBタンク建造工事（2タンク）	受注年月：2014年4月 工事進捗率（※1）：88%
国内向けLNG船用SPBタンク建造工事（4タンク×4隻）	受注年月：2014年3月（1隻目）／2015年3月（4隻目） 工事進捗率（※1）：26%（1隻目）、2%（2隻目） 0%（3隻目）、0%（4隻目）

（※1）2015年9月末時点での工事進行基準経理における工事進捗率を示す

4. 対策

F-LNG・海洋構造物事業においては、愛知工場の工程混乱や、購入品の予算超過、プロジェクト体制機能の不足により、2014年度第3四半期連結累計期間以降、大きな業績の下振れが続いていますが、このような状況の早期是正と更なる業績悪化の防止に向けて、次の対策を講じていきます。

- (1) 2015年7月より、F-LNG・海洋構造物事業における人材の補強と管理体制モニタリング強化に向けて、コーポレート主導の施策（IHIグループの部門を超えた技術者・専門家の配置や、モニタリング強化のための人材補強など）を実施しています。加えて、LNG船用SPB建造工事のリソースを確保するため、グループ会社を含めて支援を実施します。
- (2) F-LNG・海洋構造物事業においては、今年度より新規受注を中止しており、手持ち工事の完遂に注力することで、業績下振れリスクを最小化すべく取り組んでいきます。
- (3) 上記施策の実行力の強化を図る目的で、10月21日付けで、次の役員人事を実施し、F-LNG・海洋構造物事業の執行体制を強化します。

氏名	新役職	旧役職
出川定男	代表取締役副社長 副社長執行役員 社長補佐 グループ技術全般担当 情報システム関連事項担当 社会基盤・海洋事業領域担当 海洋・鉄構セクター長	代表取締役副社長 社長補佐 グループ技術全般担当 情報システム関連事項担当
安部昭則	取締役 社長特命事項	取締役 常務執行役員 社会基盤・海洋事業領域担当 海洋・鉄構セクター長 (兼) ソリューション統括本部長

なお、当社は、本日別途「2016年3月期 業績予想の修正に関する説明資料」を開示いたしましたので、あわせてご参照ください。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上